

- 2面 伊勢湾フェリー株式会社の知多丸で
四日市港社会見学体験乗船
- 3面 新造船・五十七大吉丸(東北)
外国人漁業技能実習生に
労働関係法令講習(九州関門/鹿児島)

船員しんぶん

◆ホームページアドレス <https://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaiin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行第3131号(昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2026年(令和8年)
10月15日
本紙は毎月5・15・25日発行

〒106-0032 東京都港区
六本木7丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人 齋藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339
定価1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

目指せ! 将来の
航海士
機関士

宮島(厳島)体験乗船

廿日市市立佐方小学校の5年生104人が体験乗船



9月11日、広島県廿日市市で本組合主催の「宮島(厳島)体験乗船」を開催し、広島県廿日市市立佐方小学校の5年生104人が参加した。この体験乗船は、港町での船と港と船員の重要性を子どもたちに理解してもらうことを目的に企画し、廿日市教育委員会と中国海事広報協会の後援のもと、瀬戸内海汽船株式会社と国土交通省中国運輸局の協力を得て、瀬戸内シーライン株式会社の高速船「瀬戸ブルー」を活用して実施した。

瀬戸内シーライン株式会社「瀬戸ブルー」に乗船



山下智之広島県議会議員



中原好治広島県議会議員(組合政治参与)



三上絵里参議院議員



除補修中・四国地方支部長

午前8時45分に宮島口しやもじ広場に集合、開会式を行い、除補修中・四国地方支部長が「今日は実際に船に乗って、船員がどのような仕事をしているのか、船にはどのような種類があるのかをしっかりと学んでほしい。また、この体験を通じて、この中から二人でも船員になる人が出てくることを期待しています」とあいさつした後、三上絵里参議院議員、山下智之広島県議会議員、本組合政治参与の中原好治広島県議会議員から来賓あいさつが述べられた。続いて、代表児童が「普段見ることができない船内の見学や海で働く船員の仕事、思いを少しでも学ぶことができたらいなと思っています」とあいさつした。

開会式終了後、児童は3組に分かれ高速船「瀬戸ブルー」に乗船した。そして船が宮島口を出港した後、操舵室の見学をしたほか、宮島周辺のクルーズを楽しんだ。

午前8時45分に宮島口しやもじ広場に集合、開会式を行い、除補修中・四国地方支部長が「今日は実際に船に乗って、船員がどのような仕事をしているのか、船にはどのような種類があるのかをしっかりと学んでほしい。また、この体験を通じて、この中から二人でも船員になる人が出てくることを期待しています」とあいさつした後、三上絵里参議院議員、山下智之広島県議会議員、本組合政治参与の中原好治広島県議会議員から来賓あいさつが述べられた。続いて、代表児童が「普段見ることができない船内の見学や海で働く船員の仕事、思いを少しでも学ぶことができたらいなと思っています」とあいさつした。

最後の閉会式では、除補修中・四国地方支部長があいさつした後、代表児童から「今日は私たちのために、このような素晴らしい機会を設けてくださり、ありがとうございました。今日一日、学校ではできない貴重な体験ばかりでとても楽しみなが学ぶことができました。特に、操舵室など普段入ることのできない場所を間近で見学できたことが一番心に残っています。私は、瀬戸ブルーの船内について詳しく知ることができて本当に良かったです。この体験乗船を通して、海で働く方々の仕事の魅力も、見て学ぶことができました。見学や体験を通じて、学んだこと・感じたことを大切に、これからの学習に生かしていきたいです。本当にありがとうございました」と感謝の言葉が述べられ、参加した児童全員に記念品が手渡され、体験学習を終了した。



高速船「瀬戸ブルー」

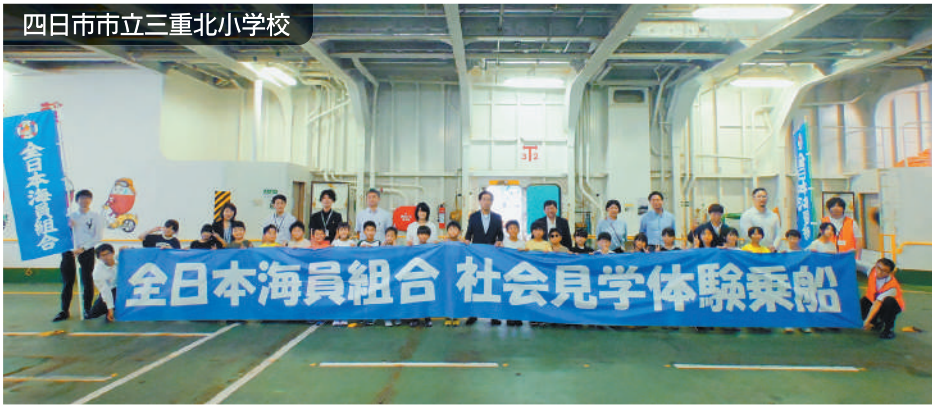


操舵室見学



みやじマリン・アシカショー

四日市市立三重北小学校



四日市市立中央小学校



四日市市立楠小学校



ロープワーク体験

「操舵室見学」では、レーダーやGPSなど航海計器の

「船と港の講話」では、執

行部と職場委員が講師を務

め、船の種類や船員の働き方

などについて説明し、児童か

ら「一番大きい船はどのく

らいの大きさなのか」「船員

はどこで生活しているのか」「

コンテナ船はコンテナを何

個運べるのか」などの質問が

あり、講師が分かりやすく丁

寧に説明した。

四日市港の周遊を終え、着

岸する時の四日市ポートサー

ビス株式会社の係船作業のよ

うすを見学した後、児童全員

に海事関連グッズが手渡さ

れ、児童は笑顔で下船した。

午後部の乗船式は、山崎

秀和関西地方支部長と稲毛弥

生四日市市教育委員会教育監

のあいさつに続き、四日市市

立橋北中学校の2年生の生徒

代表があいさつし、船が出港

すると生徒たちは2班に分か

れ「操舵室見学」と「船と港

の講話」で船と船員について

学んだ。

「操舵室見学」では、乗組

員が船体や航海計器の説明に

加え、船の運航ルールや海図

を使用して航海計画を立てる

ことなど、小学生への説明よ

り詳しく船の運航について説

明した。

午前の部は四日市市立楠小
学校の児童63人、四日市市立
中央小学校の児童18人、四日
市市立三重北小学校の児童23
人、午後の部では四日市市立

午前部

小学生104人

橋北中学校の生徒34人が「知
多丸」に乗船した。



平岡英彦中央執行委員



稲毛弥生四日市市教育委員会教育監



山崎秀和関西地方支部長

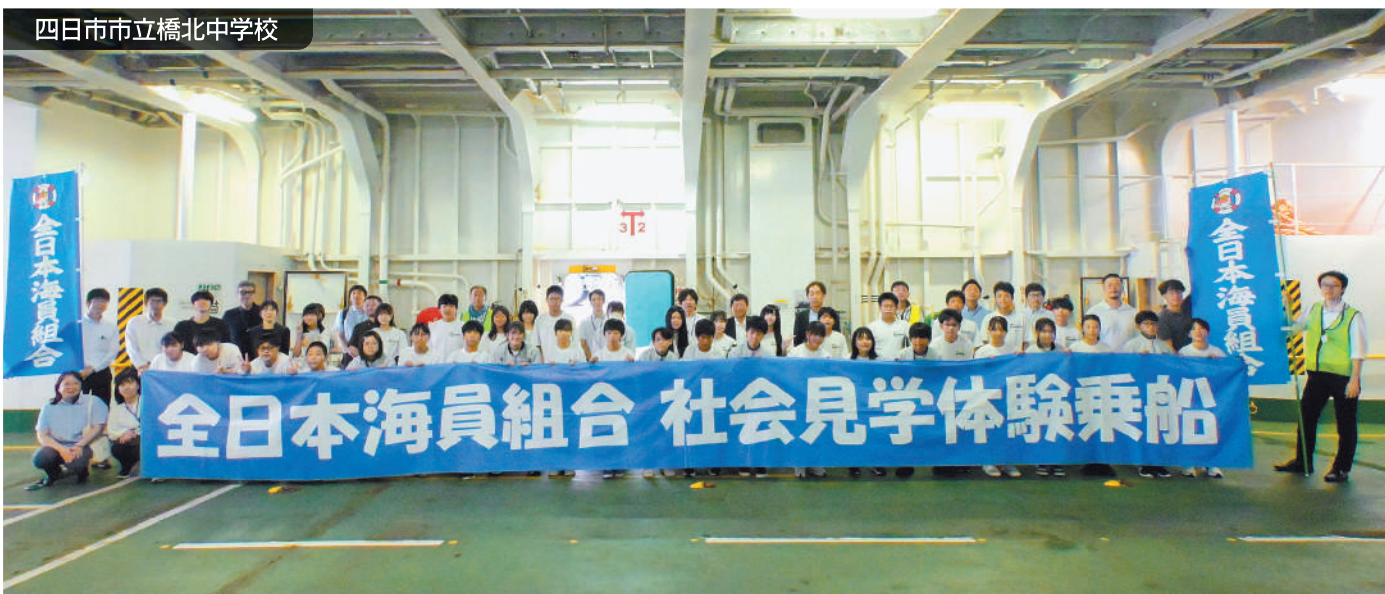
9月4日、三重県四日市港で四日市市内の小学3年生と中学1・2年生を対象に、伊勢湾
フェリー株式会社の「知多丸」に乗船して、四日市港社会見学を実施した。
この体験乗船は、船員職業を子どもたちに学んでもらうとともに、港町「四日市市」に
おける船と港と船員の重要性について理解を深めてもらうことが目的。2013年から全
日本海員組合が主催し、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、四日市市教育委員会、四日
市港管理組合、公益財団法人中部海事広報協会の後援のもと、伊勢湾フェリー株式会社と
四日市ポートサービス株式会社、太平洋フェリー株式会社の協力を得て毎年開催している。

午後部

中学生34人

午後部の乗船式は、山崎
秀和関西地方支部長と稲毛弥
生四日市市教育委員会教育監
のあいさつに続き、四日市市
立橋北中学校の2年生の生徒
代表があいさつし、船が出港
すると生徒たちは2班に分か
れ「操舵室見学」と「船と港
の講話」で船と船員について
学んだ。

四日市市立橋北中学校



操舵室見学(午前)



操舵室見学(午後)

第五十七大吉丸(お披露目式)



株式会社丸要漁業部

新造船

第五十七大吉丸

塩釜港でお披露目

8月29日、株式会社丸要漁業部の新造船「第五十七大吉丸」が、宮城県塩釜港の魚市場係船岸壁でお披露目された。小雨模様の天候の中、漁業関係者を中心に多くの人々が集まり、佐藤秀代表取締役から「何代にもわたって続けてきた漁業を守るとともに、多くの魚を水揚げして県の水産業発展に寄与したい」とのあいさつが行われ、続いて高橋和夫漁労長が、本船の乗組員を紹介するとともに、沖では安全操業に努め、大漁満船で帰港したいと語った。

お披露目式では、大漁旗を揚げた船上の高橋和夫漁労長をはじめとする乗組員から紅白の餅が、集まった人々に配られ、新造船の航海安全と大漁を祈願した。

《東北地方支部Ⅱ発信》

山口県下関市



7月16日、山口県下関漁港の福利厚生施設で、山口県以東機船底曳網漁業協同組合が受け入れるインドネシア人第18期外国人漁業技能実習生7人に、本部水産部のファイザル職員と九州関門地方支部の執行部2人が講師を務め、労働関係法令講習会を実施した。

講習会では船員法関係法令、給料その他の報酬、安全衛生、災害補償、船内秩序などの規定について説明し、質疑応答形式で理解を深めた。漁業技能実習生からの主な質問は▽有給休暇の取得方法と給料、その他の報酬について▽労災保険の適用範囲や乗船中に発生した職務外傷病の補償についてなど。

山口県 下関市

山口県下関市／宮崎県日向市

外国人漁業技能実習生に労働関係法令講習を実施

宮崎県日向市



2026年10月15日

中央選挙委員会 議長 齋藤 洋

第40期全国委員の当選告示

一、2026年10月5日付で告示した第40期全国委員補充選挙については、立候補の受け付けを締め切り、立候補者の資格審査を行い、候補者が適格であることを確認した。

対立候補者がいない立候補状況であることから、全国委員選挙規則第25条D項により投票を略し、当選人を次の通りとする。

《地方区・地方単位》

03 関東 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 井上 寛信 新潟支部長
04 関西 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 橋本 晶 大阪支部在籍専従執行部員

第41期全国委員の当選告示

一、2026年10月5日付で告示した第41期全国委員補充選挙については、立候補の受け付けを締め切り、立候補者の資格審査を行い、候補者が適格であることを確認した。

対立候補者がいない立候補状況であることから、全国委員選挙規則第25条D項により投票を略し、当選人を次の通りとする。

《地方区・地方単位》

01 北海道 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 遠藤 飾 北海道地方支部長兼道南支部長
03 関東 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 荻山 淳 関東地方支部長代行兼静岡支部長
03 関東 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 井上 寛信 新潟支部長
04 関西 (補充定員1名・立候補者1名)
当選人 橋本 晶 大阪支部在籍専従執行部員

第41期全国委員の資格喪失告示

一、次の者は、規約第47条A項8号により、全国委員

資格を喪失したので告示する。

《企業区・企業単位》

029 川崎汽船 菅野 聖智
030 関東地区外航Aグループ 東 凌歩
042 商船三井さんふらわあグループ 松田 秀平
048 関東地区港湾グループ 前田 勉

第41期全国委員・補充選挙の告示

規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第41期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示する。

一、補充選挙を行う選挙単位と補充定員

《選挙単位コード・単位名》
企業単位 029 川崎汽船 1名
企業単位 030 関東地区外航Aグループ 1名
企業単位 042 商船三井さんふらわあグループ 1名
企業単位 048 関東地区港湾グループ 1名

二、補充選挙の実施日程

立候補届出期間 2026年10月15日より
候補者告示 2026年10月24日まで
投票期間 2026年10月25日より
2026年11月24日まで
当選人告示 2026年11月25日(予定)

三、補充選挙の被選挙人

(1) 企業区

全国委員選挙規則第25条B項により、補充選挙告示日に補充選挙を行う企業単位に所属する完全資格組員とする。

四、立候補の届け出

立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定める様式に基づく立候補届を担当地区選挙委員会へ提出すること。

五、補充選挙の実施に関する問い合わせ先

中央選挙委員会事務局(総務部)

以上

宮崎県 日向市

最後に、これから始まる実習時の注意点、各地区で発生した労災事故や失踪事件の概要を説明するとともに注意喚起を行い、困ったことや相談したいことがあれば、いつでも海員組合に連絡するよう伝え、講習会を終了した。

《九州関門地方支部Ⅱ発信》

上での必要なマナーをはじめ

め、賃金やその他報酬、船員保険や共済、救命胴衣の着用義務についてなどが、本部水産部のファイザル職員の通訳を通して説明された。また、資料をインドネシア語で技能実習生に読んでもらう場面もあり、実習生たちは真剣な表情で講習に臨んだ。

それぞれマグロは縄漁船や定置網漁船に乗船することになる。洋上での活躍を期待するとともに、事故に遭ったり、けがをしないよう注意喚起を行い、実習期間中に困ったことがあれば、海員組合に連絡・相談するように伝え、講習会を終了した。

《鹿児島支部Ⅱ発信》

各地でボウリング・ソフトボール・ゴルフ

道南／関東／関西／九州関門／沖縄



九州関門地方支部 ボウリング



関東地方支部 ソフトボール



9月25日、函館市近郊の大沼レイクゴルフクラブで秋季海員健康ゴルフコンペを開催し、現場組合員やOBなど14人が参加した。プレーをしながら交流を深め、結果は津軽海峡フェリー株式会社の岩崎徹船長が優勝し、準優勝は青

9月25日、函館市近郊の大沼レイクゴルフクラブで秋季海員健康ゴルフコンペを開催し、現場組合員やOBなど14人が参加した。プレーをしながら交流を深め、結果は津軽海峡フェリー株式会社の岩崎徹船長が優勝し、準優勝は青

9月25日、函館市近郊の大沼レイクゴルフクラブで秋季海員健康ゴルフコンペを開催し、現場組合員やOBなど14人が参加した。プレーをしながら交流を深め、結果は津軽海峡フェリー株式会社の岩崎徹船長が優勝し、準優勝は青

9月25日、函館市近郊の大沼レイクゴルフクラブで秋季海員健康ゴルフコンペを開催し、現場組合員やOBなど14人が参加した。プレーをしながら交流を深め、結果は津軽海峡フェリー株式会社の岩崎徹船長が優勝し、準優勝は青

九州関門地方支部
ボウリング
8月7日、下関ロイヤルボウルで、北九州・下関ボウリング大会を開催し、現場組合員とその家族、関係者など119人が参加した。

はじめに浅野忠行九州関門地方支部長が「組合のスポーツイベントは各社組合員とご家族が親睦を深められる機会であり、職場やご家庭での楽しい話題となるボウリング大会にしてほしい」とあいさつ

し、続いて来賓の城井崇組合政治参与からあいさつをいただき、ゲームを開始した。会場では、子どもたちの可愛い投球に癒される大人たちの姿が見られ、会場は参加者の笑い声や歓喜に沸いた

ゲームの結果、優勝したのは久米商船株式会社の花城寛之さん。表彰式後は、恒例のくじ引き大会が始まり、参加者全員に賞品が配られ、ボウリング大会は楽しく盛り上がり幕を閉じた。

7月18日、大黒ふ頭中央公園で、2026年度横浜港国際船員スポーツ大会(ソフトボール大会)を開催した。試合には船員や港湾の仕事

に関係する団体8チームが参加し、開会式の後、山原始関東地方支部長代行が始球式のピッチャーを務めた。各グラウンドで白熱した試合が繰り広げられ、決勝戦の株式会社タイトーコーポレーションチームと横浜港埠頭株式会社ソフトボール部の対決は、好プレーが次々と飛び出す熱戦となり、横浜埠頭株式会社ソフトボール部の優勝で幕を下ろした。



沖縄支部・ボウリング

沖縄支部

8月21日、那覇市波之上の「那覇サラダボウル」で海員ボウリング大会を開催し、組合員やその家族、海事関係者など約50人が参加した。はじめに「神健太沖縄支部長が「日々のストレスなどを球に込め、けが無く大いに盛り上がりつつ楽しんでいただきたい」とあいさつした後、各レーンで熱戦が始まった。沖縄県はボウリングが盛ん。家族でゲームを楽しむ姿や、日頃の業務では見られないさまざまな人とのハイタッチする姿が見られ、和やかにゲームは進んだ。



ゴルフ

道南支部

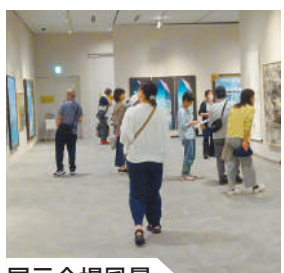


ゴルフ

関西地方支部

日本の海洋画展

宮城県石巻市で初開催



展示会場風景



マルホンまきあーと(外観)



あいさつする齋藤正美石巻市長

7月23日から26日までの4日間、石巻市の総合文化施設「マルホンまきあーと」(石巻市民会館と石巻文化センター複合施設)の石巻博物館で「第41回・日本の海洋画展」を開催し、39点の作品が展示された。石巻市の開催は、齋藤正美石巻市長から「日本の海洋画展については、石巻市出身の画家に聞いており、ぜひ石巻市民に見ていただく機会を設けたい」との開催要請があり、石巻市役所の協力のもと開催の運びとなった。展示会場には年配の方から子どもまで幅広い年齢層の方々が訪れ、4日間で681人が来場する結果となり「大変すばらしい絵でした」「感動しました」「迫力のある絵画、良いものを見せてもらいました」などの感想が寄せられた。また、開催初日に石巻市での初開催を記念し「いしのまき元気いちば」で、JSS主催のレセプションを開催し、齋藤石巻市長からあいさつをいただいた。

7月23日から26日までの4日間、石巻市の総合文化施設「マルホンまきあーと」(石巻市民会館と石巻文化センター複合施設)の石巻博物館で「第41回・日本の海洋画展」を開催し、39点の作品が展示された。石巻市の開催は、齋藤正美石巻市長から「日本の海洋画展については、石巻市出身の画家に聞いており、ぜひ石巻市民に見ていただく機会を設けたい」との開催要請があり、石巻市役所の協力のもと開催の運びとなった。展示会場には年配の方から子どもまで幅広い年齢層の方々が訪れ、4日間で681人が来場する結果となり「大変すばらしい絵でした」「感動しました」「迫力のある絵画、良いものを見せてもらいました」などの感想が寄せられた。また、開催初日に石巻市での初開催を記念し「いしのまき元気いちば」で、JSS主催のレセプションを開催し、齋藤石巻市長からあいさつをいただいた。